

可塑剤・フタル酸エステルを取り巻く国内外の規制・市場動向と今後の課題

<https://www.rdsc.co.jp/seminar/250674>

◆日時：2025年06月16日（月）13:30～15:30

◆会場：WEBセミナー（オンライン開催）

◆聴講料：1名につき38,500円（税込、資料付）

※会員登録（無料）をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき35,200円（税込）

・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料（2名で38,500円（税込））

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師：可塑剤工業会 技術部 部長 工学博士 柳瀬 広美 氏

| | |
|---------|--|
| 【習得知識】 | <ul style="list-style-type: none"> ・化学物質（可塑剤）の用途開発に役立つ知識が得られる。 ・化学物質の規制に対する基本知識が可塑剤の現状を認識することで習得できる。 ・化学物質の安全性に対する取り組み方の基本が可塑剤の置かれた現状を学習することで身に付く。 |
| 【講座の趣旨】 | <p>可塑剤は1950年代から工業的に生産され、約70年の歴史を持つプラスチック添加剤です。主にPVC（ポリ塩化ビニル）に使用されており、全体の約80%がPVC向けです。PVCは常温では硬いガラス状ですが、可塑剤を添加することで柔軟性を調整でき、パイプ、電線被覆材、建材（窓枠・壁紙・床材）、玩具、包装材、容器など、硬質から軟質まで幅広い製品に適用されています。</p> <p>一方で、製品を開発・販売する際には、人や環境への影響を考慮することが不可欠です。現在では、製品の使用段階でのリスクを評価し、適切に管理する手法が各国・地域ごとに整備されています。本セミナーでは、可塑剤を具体例として、リスク評価と管理のプロセス、そしてその最新の動向について概説します。</p> <p>また、可塑剤に使用される化学物質の多くはエステル結合を持つ低分子化学物質であり、その用途は可塑剤に限らず、コーティング剤、接着剤、塗料、シーラント溶剤などにも広がっています。こうした関連分野への応用についてもご紹介いたします。</p> |
| 【プログラム】 | <p>【第一部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可塑剤工業会の紹介 ・可塑剤とは ・フタル酸エステルとは ・フタル酸エステルの用途と内外市場 <p>【第二部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・化学物質管理の潮流とトレンド ・フタル酸エステル規制のはじまり ・フタル酸エステル規制の現状（欧州、米国、アジア、日本） <p>【第三部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可塑剤工業会の安全性への取り組み（種差、環境モニタリング） ・可塑剤にまつわる課題 |

『可塑剤【WEBセミナー】』セミナー申込書

| | | | |
|----------|---|--------|--|
| 会社名 | | | |
| 住所 | 〒 | | |
| 電話番号 | | FAX | |
| お名前 | 所属・役職 | E-mail | |
| ① | | | |
| ② | | | |
| 会員登録（無料） | <input type="checkbox"/> Eメール <input type="checkbox"/> 郵送 ※ご希望の案内方法を選択してください。複数選択可。 | | |

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項を記入のうえ、FAXにてお申し込みください。弊社で内容を確認後、受領のご連絡を差し上げます。受講用URLは後日お送りいたします。

なお、お申し込み後のキャンセルは原則として承っておりません。ご都合により出席できない場合は、代理の方にご出席いただくようお願いいたします。代理の方も見つからない場合は、（土日祝日を除く）8日前までにご連絡いただければキャンセルを承ります。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。

⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。

⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>